



毎月 1 回 1 日 発行

発行 公益社団法人 全国防災協会

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 2-8

(新小伝馬町ビル 6F)

電話 03 (6661) 9730 FAX 03 (6661) 9733

発行責任者 水落雅彦 印刷所 (株)白 橋



北海道厚真町吉野【9月6日撮影（空中写真）】 国土地理院ホームページより
<http://www.gsi.go.jp/BOUSAI/H30-hokkaidoiburi-east-earthquake-index.html#3>

目 次

北海道胆振東部地震の被害状況及び国土交通省の対応	
.....公益社団法人 全国防災協会	2
災害査定を効率化します（北海道胆振東部地震、台風19、20、21号）	
.....国土交通省水管理・国土保全局防災課他	9
会員だより 災害復旧エキスパート支援団体承認式	宮崎県県土整備部河川課
	10
協会だより 出版図書案内（増刷）	12
・（増刷）災害復旧事業における地すべり対策の手引き	
・（増刷）河川災害復旧護岸工法技術指針（案）	
被害報告	13

北海道胆振東部地震による被害状況及び 国土交通省の対応

公益社団法人 全国防災協会

9月6日3時7分に北海道胆振（いぶり）地方中東部の深さ約35kmでマグニチュード（M）6.7の地震が発生しました。この地震により厚真町で最大震度7を観測しました。周辺地域を含め大規模な崖崩れや液状化が発生し、厚真町36名をはじめ41名が死亡し、2,238棟が被災（全半壊、一部破損）し、一時道内全域で停電が派生するなど甚大な被害が発生しています。また、現時点（9月20日）で900余名の方々が避難生活を強いられています。

今回は、地震の概況及び公共土木施設の被災状況、国土交通省のテックフォース（TEC-FORCE）による自治体等の支援状況についてお知らせします。

1. 地震の概況（9月11日気象庁発表）

・9月6日最大震度7を観測後、9月20日8時現在、震度1以上を観測する地震が260回（内震度4以上、16回）発生しています。

2. 河川管理施設等の被害（9月20日 8：00現在）

1) 道路管理施設

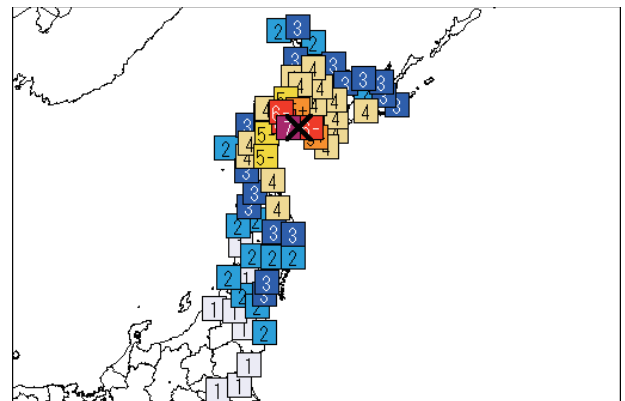
①高速道路、国管理国道：被災無し

②道道・政令市道：10区間

北海道9区間（土砂崩れ7区間、橋梁損傷2区間、路線損傷0区間）

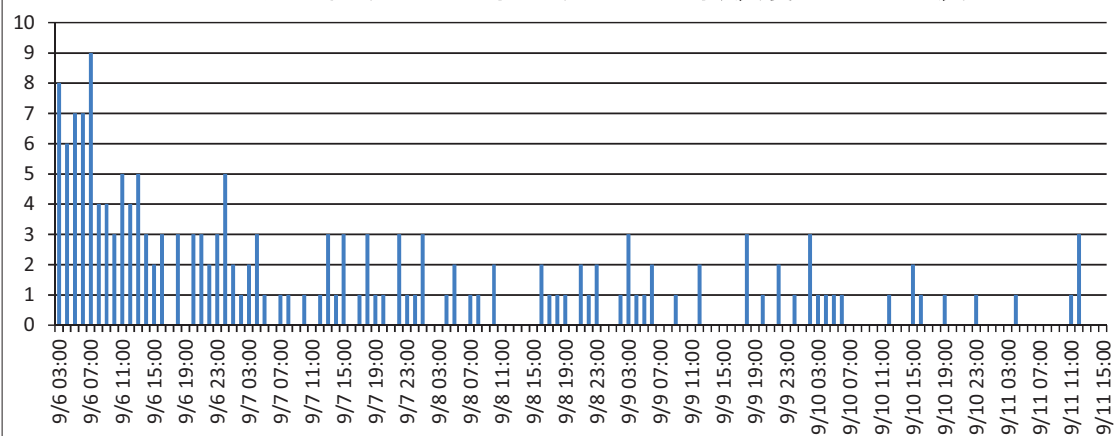
札幌市1区間（液状化1区間）

震度分布図



各地域の震度分布

「平成30年北海道胆振東部地震」の時間別地震回数
(平成30年9月6日03時～9月11日16時、震度1以上の地震)



2) 河川管理施設

①国管理：3 水系 6 河川32箇所（全箇所に対策完了）

整備局	水 系	河 川	市町村	地 点		被 害 状 況		対 策 状 況
				左右岸	KP	状 態	数 量 (約)	
北海道	イシカリガワ 石狩川	バラト ガワ 茨戸川	イシカリシ 石狩市	右岸	7.8	堤防天端の縦断亀裂	300m	応急対策完了
北海道	イシカリガワ 石狩川	イシカリハウスイロ 石狩放水路	イシカリシ 石狩市	左右岸	0.1～0.8	護岸の沈下	1,400m	応急対策完了
北海道	イシカリガワ 石狩川	トヨヒラ ガワ 豊平川	サッポロシ 札幌市	左岸	4.0	堤防天端の縦断亀裂	20m	応急対策完了
北海道	イシカリガワ 石狩川	ケヌツチガワ 峻淵川	テトセシ 千歳市	左岸	7.0	その他	1箇所	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	0.6	堤防天端の縦断亀裂	100m	緊急復旧完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	0.7	堤防法面の縦断亀裂	150m	緊急復旧完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	0.9	堤防天端の横断亀裂	20m	緊急復旧完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	1.8	堤防天端の縦断亀裂	10m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	2.0	堤防天端の横断亀裂	10m	緊急復旧完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	2.1	堤体の沈下	20m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	2.2	堤防天端の縦断亀裂	5m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	2.2	堤防天端の縦断亀裂	7m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	2.5	堤防天端の縦断亀裂	200m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	2.0	堤防天端の縦断亀裂	10m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	3.2	堤防天端の縦断亀裂	300m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	21.4	堤防天端の縦断亀裂	50m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	22.6	その他	600m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	35.4	堤防天端の縦断亀裂	400m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	3.7	堤防天端の縦断亀裂	150m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	4.1	堤防天端の縦断亀裂	150m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	4.6	堤防天端の縦断亀裂	150m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	左岸	4.8	堤防天端の縦断亀裂	100m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	右岸	3.2	堤防天端の縦断亀裂	10m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	右岸	3.4	堤防天端の横断亀裂	10m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	右岸	3.9	堤防天端の縦断亀裂	20m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	右岸	21.4	堤防天端の縦断亀裂	50m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	右岸	34.3	堤防天端の縦断亀裂	100m	応急対策完了
北海道	ムカワ 鵲川	ムカワ 鵲川	ムカワ むかわ町	右岸	35.4	その他	400m	応急対策完了
北海道	サルガワ 沙流川	サルガワ 沙流川	ヒダカチヨウ 日高町	右岸	2.0	堤防天端の縦断亀裂	50m	応急対策完了
北海道	サルガワ 沙流川	サルガワ 沙流川	ヒダカチヨウ 日高町	右岸	5.6	堤防天端の横断亀裂	10m	応急対策完了
北海道	サルガワ 沙流川	サルガワ 沙流川	ピラトリチヨウ 平取町	右岸	20.0	堤防天端の縦断亀裂	450m	応急対策完了
北海道	サルガワ 沙流川	サルガワ 沙流川	ピラトリチヨウ 平取町	右岸	二風谷ダム上流8.9	その他	20m	応急対策完了

②同管理河川 6 水系 7 河川

都道府県	水 系	河 川	市町村	被 害 状 況		対策状況	進捗
				状 態	件数		
北海道	ムカワ 鵲川	キナウス川	ムカワ むかわ町	堤防天端の縦断亀裂	3	応急対策完了	
北海道	サルガワ 沙流川	シケレベ川	ピラトリチヨウ 平取町	その他	1	緊急復旧中	
北海道	トマコマイ カワ 苦小牧川	トマコマイ カワ 苦小牧川	トマコマイシ 苦小牧市	堤防天端の縦断亀裂	1	応急対策完了	
北海道	アピラ カワ 安平川	ユウフツガワ 勇払川	トマコマイシ 苦小牧市	堤防天端の横断亀裂	1	応急対策完了	
北海道	アツマ ガワ 厚真川	アツマ ガワ 厚真川	アツマチヨウ 厚真町	その他	3	緊急復旧中	河道埋塞箇所掘削中
北海道	アツマ ガワ 厚真川	アツマ ガワ 厚真川	アツマチヨウ 厚真町	堤防天端の縦断亀裂	10	応急対策完了	
北海道	アツマ ガワ 厚真川	ヒダカ ホロナガワ 日高横内川	アツマチヨウ 厚真町	その他	1	調査中、経過監視	
北海道	イリシカベツカワ 入鹿別川	イリシカベツカワ 入鹿別川	ムカワ むかわ町	堤防天端の縦断亀裂	18	応急対策完了	

3) 土砂災害

土砂災害発生状況57件（1道）

ア) 土石流等

都道府県名		市町村名		箇所名	人の被害			人家被害		
					死者	行方不明者	負傷者	全壊	半壊	一部損壊
北海道	24件	厚真町	22件	幌里他	6名	調査中	調査中	調査中	調査中	調査中
		むかわ町	1件	穂別	名	名	名	戸	戸	戸
		日高町	1件	富川	名	名	名	戸	戸	戸
計	24件				6名	名	名	戸	戸	戸

イ) がけ崩れ

都道府県名		市町村名		箇所名	人の被害			人家被害		
					死者	行方不明者	負傷者	全壊	半壊	一部損壊
北海道	33件	厚真町	15件	吉野他	30名	調査中	調査中	調査中	調査中	調査中
		安平町	1件	早来	名	名	名	戸	戸	戸
		むかわ町	1件	栄	名	名	名	戸	戸	戸
		札幌市	5件	清田区	名	名	名	戸	戸	戸
		恵庭市	2件	島松沢他	名	名	名	戸	戸	戸
		千歳市	1件	泉郷	名	名	名	戸	戸	戸
		三笠市	2件	本町他	名	名	名	戸	戸	戸
		日高町	2件	広富	名	名	名	戸	戸	戸
		平取町	4件	貴氣別他	名	名	名	戸	戸	戸
計	33件				30名	名	名	戸	戸	戸

3. 国土交通省による主な取り組み（TEC-FORCE 派遣他）

○9月6日から北海道開発局をはじめ、全地方整備局(8)より9月21日現在、延べ1,811名派遣し現在も継続中です。派遣先は、被害の大きかった厚真

町を初め、15市町・開発建設部で河川、道路等土木施設の被災状況調査や道路啓開、埋塞河川の掘削及び給水活動等、被災者に寄り添い、市町村を初めとする施設の早期復旧に向けた活動を行っています。

平成30年 9 月21日現在

[illegible]

派遣元	派遣先 市町村等	派遣内容	9月																			合 計
			6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21				
北海道開発局	長沼町	被災状況調査班(河川)	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
	札幌開発建設部	被災状況調査班(河川砂防)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	札幌開発建設部	被災状況調査班(河川)	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
	札幌開発建設部	被災状況調査班(砂防)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	室蘭開発建設部	被災状況調査班(道路)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	12		
	室蘭開発建設部	応急対策班	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4		
	北海道開発局計		12	56	64	71	83	67	48	49	49	51	42	21	15	14	13	13	668			
東北地方整備局	北海道開発局	総合司令部	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	0	48			
	苫小牧市	被災状況調査班(砂防)	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	24			
	苫小牧市	被災状況調査班(道路)	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	20			
	苫小牧市	応急対策班(機械)	0	3	3	4	4	3	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	29			
	恵庭市	被災状況調査班(砂防)	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8			
	長沼町	被災状況調査班(砂防)	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8			
	恵庭市	被災状況調査班(道路)	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4			
	千歳市	被災状況調査班(道路)	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8			
	江別市	被災状況調査班(道路)	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4			
	安平町	被災状況調査班(道路)	0	0	0	0	0	8	8	8	8	8	8	8	0	0	0	0	48			
	むかわ町	被災状況調査班(砂防)	0	0	0	0	0	0	8	8	4	0	0	0	0	0	0	0	20			
	札幌開発建設部	被災状況調査班(砂防)	0	0	0	0	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16			
	札幌開発建設部	被災状況調査班(道路)	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8			
	厚真町	被災状況調査班(砂防)	0	0	0	0	0	0	0	0	4	8	8	0	0	0	0	0	20			
		小計		16	23	23	24	24	23	23	23	23	23	20	20	0	0	0	265			
関東地方整備局	北海道開発局	先遣班	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	0	48			
	厚真町	被災状況調査班(河川)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	4	0	0	0	0	40			
	厚真町	被災状況調査班(砂防)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	4	0	0	0	0	0	40			
	厚真町	被災状況調査班(道路)	8	8	8	8	0	0	0	8	8	0	8	0	0	0	0	0	56			
	厚真町	応急対策班	0	0	0	0	0	6	6	6	6	6	0	0	0	0	0	0	24			
	厚真町	広報班	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4			
	苫小牧(苫東中央管理ステーション)	広報班	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2			
	苫小牧(苫東中央管理ステーション)	被災状況調査班(河川)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	8			
	苫小牧(苫東中央管理ステーション)	被災状況調査班(砂防)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	0	8			
	苫小牧(苫東中央管理ステーション)	被災状況調査班(道路)	0	0	0	0	8	8	4	0	0	8	0	0	0	0	0	0	28			
	苫小牧(苫東中央管理ステーション)	被災状況調査班(応援対策)	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6			
	むかわ町	被災状況調査班(道路)	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4			
	小計		20	20	20	20	26	26	26	28	28	22	20	12	0	0	0	268				
北陸地方整備局	北海道開発局	先遣班	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0	0	0	0	0	33			
	胆振地方	被災状況調査班(砂防)	4	8	8	8	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	36			
	胆振地方	被災状況調査班(道路)	8	8	8	8	0	0	0	0	0	8	8	0	0	0	0	0	48			
	胆振地方	応急対策班	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8			
	苫小牧港	緊急物資輸送・入浴	0	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	0	0	0	0	43			
	苫小牧(苫東中央管理ステーション)	被災状況調査班(道路)	0	0	0	0	8	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	40			
	苫小牧(苫東中央管理ステーション)	被災状況調査班(砂防)	0	0	0	0	0	0	0	8	8	8	0	0	0	0	0	0	24			
	札幌開発建設部	被災状況調査班(砂防)	0	0	0	0	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24			
	小計		17	25	25	25	23	23	23	23	22	23	23	4	0	0	0	256				
中部地方整備局	北海道開発局	先遣班	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	0	48			
	胆振地方	被災状況調査班(道路)	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	40			
	胆振地方	被災状況調査班(砂防)	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	4	0	8	0	0	0	44			
	胆振地方	応急対策班	5	6	6	6	6	6	6	5	5	5	0	0	0	0	0	0	56			
	厚真町	被災状況調査班(砂防)	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	4	8	0	0	0	0	28			
	厚真町	被災状況調査班(道路)	0	0	0	0	0	0	0	8	8	0	8	0	0	0	0	0	24			
	三笠市	被災状況調査班(砂防)	0	0	0	0	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24			
	三笠市	被災状況調査班(道路)	0	0	0	0	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24			
	小計		25	26	26	26	26	26	26	25	25	25	20	12	0	0	0	288				
中国地方整備局	胆振地方	応急対策班	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	27			
四国地方整備局	苫小牧(苫東中央管理ステーション)	応急対策班	0	0	0	3	3	3	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	18			
九州地方整備局	苫小牧市	応急対策班(機械)	0	0	0	3	3	3	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	21			
地方整備局計			78	97	97	104	108	107	107	108	107	99	83	48	0	0	0	0	1,143			
合計			90	153	161	175	191	174	155	157	156	150	125	69	15	14	13	13	1,811			

○活動状況写真（抜粋）

TEC-FORCE の活動状況については、北海道開発局ホームページ（下記）でご覧下さい。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/saigai/splaat000001e1uy.html>

■北海道開発局TEC—FORCE 道路班の活動状況 <9月8日(土)>

【活動場所】 厚真町 【活動内容】 被災状況調査



調査状況【札幌①班】



調査状況【札幌②班】



調査状況【札幌③班】



調査状況【留萌⑤班】(厚真町役場)

1

■関東地方整備局TEC—FORCE 河川班・砂防班・道路班の活動状況 <9月8日(土)>

【活動場所】 厚真町 【活動内容】 被災状況調査



河川①班 (チカエツ川 厚真町吉野・富里地区)



砂防①班写真 (知決辺川 厚真町幌里地区)



道路①班 (厚真町吉野地区)



道路②班 (厚真町幌里地区)

5

9 月 8 日道路他土木施設被災状況調査（厚真町：北海道開発局、厚真町：関東地方整備局）

北海道開発局TEC—FORCE の活動状況 <9月14日(金)>

【活動場所】 厚真町

【活動内容】 河道掘削、道路啓開



河道掘削（厚真川）上流側状況



町道幌内線拡幅作業中

2

9月14日埋塞河川河道掘削、道路啓開（厚真町：北海道開発局）

TEC—FORCE の活動状況 <9月16日(日)>

【活動場所】 安平町、苫小牧市

【活動内容】 給水・入浴等支援



公民館給水支援（安平町）



高等学校給水支援（安平町）

災害対策車等による給水支援



洗濯利用状況



重油支援状況（むかわ町へ）

大型浚渫兼油回収船「白山」（北陸地方整備局所属）による支援活動

2

9月16日給水・入浴等支援（安平町、苫小牧市：北海道開発局、北陸地方整備局）

(参考)

北海道地震、土砂崩れの復旧作業 浜松河川国道事務所の竹林さん

9/12(水) 17:00配信




照明車を稼働させ、作業を見守る
竹林真吾さん＝11日夜、北海道厚
真町幌内地区

地震で震度7の揺れがあった北海道厚真町の土砂崩れ現場で11日夜、国土交通省浜松河川国道事務所防災課の竹林真吾さん(45)が緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の一員として復旧作業に当たった。現場は土砂が川の流れをせき止めてできる「土砂ダム」の状態、増水すると決壊する恐れがあった。15日まで道内各地で活動する予定。

竹林さんらは夜間、厚真町幌内地区の厚真川に流入した土砂をかき出し、堤防上の道路を通行可能にする作業に取り組んだ。現場ではショベルカーや照明車計12台が稼働。このうち照明車1台は同事務所が派遣した。竹林さんは照明車を操作したり、重機を操縦する建設業者に指示を出したりして、約5時間半かけて作業を完了させた。

竹林さんは「速やかに土砂を取り除くことで決壊の危険をなくすことができた。今後も住民の生活のために任務に取り組む」と話した。

静岡新聞社

地方整備局TEC-FORCE の活動状況 <9月11日(火)>

【活動場所】 厚真町

【活動内容】 被災状況調査



砂防状況調査(厚真町) (北陸地整)



道路被災状況調査(安平町) (北陸地整)



砂防状況調査(三笠市) (中部地整)



応急対策支援(厚真町幌内地区) (中部地整)

7

9月11日応急対策支援(厚真町幌内地区:中部地方整備局)

北海道胆振東部地震及び台風第19号、20号、21号の 暴風雨により被災した河川・道路等の迅速な復旧を支援 ～災害復旧事業の災害査定効率化～

平成30年 9 月25日 水管理・国土保全局防災課他

国土交通省では、平成30年北海道胆振東部地震による被災施設について、「大規模災害時の災害査定効率化（簡素化）及び事前ルール」[※]を適用し、北海道（政令市を除く道内市町村含む）及び札幌市などの災害復旧事業の査定を効率化（簡素化）するとともに、平成30年台風第19号、20号、21号の暴風雨等による被災施設について、山形県及び和歌山県などの災害復旧事業の査定を効率化（簡素化）します。

これにより、今般の災害に見舞われた地方自治体の災害復旧事業の災害査定の事務手続きの迅速化が図られます。

※大規模災害発生時に被災自治体の災害査定に要する期間等を大幅に縮減するルールとして設けたもの（平成29年 1 月13日公表、別添参照）

○ 書面による査定上限額の引き上げにより査定に要する時間や人員を大幅に縮減

- ・書面による査定上限額を通常300万円未満から以下のとおり引き上げる。

地震（水管理・国土保全局所管）

北海道：5,000万円以下

地震（港湾局所管）

苫小牧港管理組合：3,200万円以下

台風（水管理・国土保全局所管）

山形県・和歌山県：2,000万円以下

石川県：1,000万円以下

台風（都市局所管）

大阪府：400万円以下 札幌市：2,000万円以下

大阪市：350万円以下

台風（港湾局所管） 神戸市：5,000万円以下

○ 設計図書の簡素化により早期の災害査定を実施

- ・以下を対象として、既存地図や航空写真、代表断面

面図を活用することで、測量・作図作業等を縮減する。

- ・また、土砂崩落等により被災箇所へ近寄れない現場に対し、航空写真等を用いることで、調査に要する時間を縮減する。

地震（水管理・国土保全局所管及び都市局所管）

北海道、札幌市

地震（港湾局所管） 苫小牧港管理組合

台風（水管理・国土保全局所管） 山形県、和歌山県

台風（港湾局所管） 神戸市

○ 現地で決定できる災害復旧事業費の金額の引上げにより早期の災害復旧を実施

- ・平成30年北海道胆振東部地震における北海道及び札幌市において、現地で決定できる災害復旧事業費の金額を通常 4 億円未満から 8 億円未満に引き上げる（水管理・国土保全局所管の施設のみ）。

< 別 添 >

大規模災害時の災害査定の効率化（簡素化）及び事前ルール化について

【背景】	・大規模災害が発生した際、 インフラの迅速な復旧が急務 ・これまでの大規模災害では、災害査定をスピーディーかつ効率的に進めるため、 様々な「査定の効率化（簡素化）」を実施 。 ・しかしながら、個別の災害毎に効率化（簡素化）の内容を決めていたため 決定までに約1箇月を要していた。 ・そのため、南海トラフ地震、首都直下地震、スーパー台風等の大規模災害に備え、より迅速に 災害査定の効率化（簡素化）の 具体的内容を決定することが必要。
【事前ルール化】	・ カテゴリーS ：激甚災害（本激）に指定又は指定の事前公表がされた災害で、かつ、 緊急災害対策本部（政府）が設置された災害 （過去の事例：東日本大震災（H23）） ・ カテゴリーA ：激甚災害（本激）に指定又は指定の事前公表がされた災害 （過去の事例：熊本地震（H26）、台風12号（H23）、新潟県中越地震（H16）、阪神淡路大震災（H7）などを含む14災害） ● カテゴリーS・Aの災害の要件を満たした場合、以下の効率化（簡素化）を実施
災害査定の手続きの効率化（簡素化）の主な内容	
① 机上査定限度額の引上げ （カテゴリーSは被害件数の概ね9割、カテゴリーAは被害件数の概ね7割となる金額まで引き上げる） （原則：300万円）	（参考：過去の事例 カテゴリーS 5,000万円、カテゴリーA 1,000万円） ：会議室で書類のみで行う机上査定の対象限度額の引上げにより査定期間を短縮
② 採択保留額の引上げ （カテゴリーSは採択保留件数の概ね9割、カテゴリーAは採択保留件数の概ね6割となる金額まで引き上げる） （原則：4億円）	（参考：過去の事例 カテゴリーS 30億円、カテゴリーA 8億円） ：現地で決定できる災害復旧事業の金額の引上げにより早期着手が可能
③ 設計図書の簡素化	：設計図書の作成において航空写真や標準的な断面図等の活用により測量・設計期間を短縮 など

会 員 だ よ り

災害復旧エキスパート支援団体承認式

宮崎県 県土整備部 河川課 災害担当

【背 景】

平成17年以降、宮崎県では大規模な災害が少なく、過去に災害を経験したことのある技術者も退職し、また新しく入ってきた若手職員も災害復旧を経験する機会が少なくなっています。このため災害対応力強化のため、河川課では、様々な講習会を実施し対応を行っているところです。

今回、大規模災害時における支援として、全国防災協会の災害復旧技術専門家派遣制度に加え、本年4月新たな宮崎県独自の市町村支援体制となる「災害復旧エキスパート制度」を施行しました。

【災害復旧エキスパートとは】

災害復旧エキスパート制度は、地震、津波、風水害等による大規模な災害が発生した場合、市町村からの要請に基づき、災害復旧業務の経験や専門的な知識を有する技術者（以下「災害復旧エキスパート」という。）を派遣し、災害復旧エキスパートがその経験や知識を生かしたボランティア活動を行うことにより、市町村を支援するものです。

【支援団体承認式】

今回、全建緑陽会が「災害ボランティア部会」を立ち上げ、災害復旧エキスパート制度への登録申請があり、支援団体として承認されることとなったため、平成30年8月24日に、「災害復旧エキスパート支援団体承認式」を実施しました。

この承認式において、宮崎県県土整備部次長より、登録承認書の授与を行った後、昨年度の九州北部豪雨の際にも市町村からの支援要請に対し、延べ約200名を派遣されている福岡県防災エキスパート会の理事をお招きし、支援活動について講演していただきました。

① 登録承認書授与



写真左：全建緑陽会 濱田会長
写真右：宮崎県県土整備部 蓑方次長

② 記念講演



福岡県防災エキスパート会 堤理事

【おわりに】

宮崎県では、本年度創設した「災害復旧エキスパート制度」を活用しながら市町村と連携し、大規模な災害がいつ発生しても対応できるように、担い手育成と技術力向上を図っていきたいと考えております。

会員だより

新聞記事

県技術職OB復旧支援

災害時、市町村へ派遣

県は、県土整備部の元技術職員が大規模災害発生時に復旧作業を手助けする「災害復旧エキスパート制度」を創設した。各市町村は土木関連の技術職員が限られていることから元県職員の経験を生かしてもらうと、4月に制度を創設。24日に県土整備部の



防の被災状況の把握、復旧工事に向けた計画作成などをアドバイザーする。

同会の会員は172人おり、このうち31人が同制度に登録している。県は今後、さらに登録者を募り、支援態勢を整える方針。

宮崎市の県婦人会館で24日にあった承認式では、県土整備部の養方公次長が「地域の安全、安心を守るため協力を願いたい」とあいさつ。濱田会長は「現役時代の知識を生かしながら、さらに研さんを重ねたい」と意欲を見せた。

(川原智美)

△「宮崎日日新聞」

県土整備部「緑陽会」を承認

災害復旧エキスパートに

県今年度、制度を創設し募集していた「災害復旧エキスパート」の承認式が24日、宮崎市内であった。県土整備部の技術職OBでつくる緑陽会（濱田良和会長、31人）が支援団体に登録された。同エキスパートは大規模災害発生時、要請があった市町村に災害復旧の進め方などをアドバイザー

スするボランティア。県内市町村は技術職員が限られ、豊富な経験と知識を持つ県職OBの支援が求められていたという。承認式で県の担当者（濱田良和会長、31人）は、大地震や津波、豪雨災害などが今後、県内でいつ発生してもおかしくないとし、平時の災害対応力強化が急務であると説明。会員らは、自分たちがあくまでもボランティアで、市町村の求めに応じた助言に徹することを確認した。

また、長年活動している福岡県防災エキスパート会の場督夫理事が組織運営や活動内容を紹介。濱田会長は「現役時代の知識がどれほど通用するか分からないが、担当事務の指導もいたさながら頑張りたい」と話した。



災害復旧エキスパートの承認証を受ける緑陽会の濱田会長

△「タ刊デイリー」 平成30年8月25日(土)

県派遣「災害復旧エキスパート」

県土整備部OB団体を承認

大規模災害時に予想される市町村の人手不足をカバーするため、ノウハウのある人材に協力を求める、県の「災害復旧エキスパート制度」が創設された。県で災害復旧に携わったOBに活躍してもらうことを想定している。

県河川課によると、大規模災害発生時に専門知識を持つ技術者を県を通して各市町村に派遣。災害復旧の工法や、人員配置に関する技術的な助言、平時の研修

などを担う。

派遣される災害復旧エキスパートは、県土整備部の技術職員として災害復旧業務の経験者であることが要件。24日にあった承認式では、県土整備部のOB職員らでつくるボランティア組織「全建緑陽会」が登録団体として承認を受けた。

続いてあった研修では、福岡県防災エキスパート会の堤晴夫理事が「現職時に培った技術や経験を後輩職員に伝え、社会貢献をしてほしい」と講演。福岡の先進例を紹介しながら、「市町村では慢性的に技術者が不足していて、有事に多忙を極める県にも頼りにくい状況が考えられる。みなさんが市町村と県の橋渡しになることが重要」などと伝えた。

(大山稜)

▷「朝日新聞」 平成30年8月25日(土)



承認書を受け取る「全建緑陽会」の浜田良和会長（左）＝宮崎市

協会だより

販売終了図書の再販売のお知らせ

—問い合わせが多い 2 冊を再販売しています—

販売を終了していた下記の 2 種類について、問い合わせ及び再販売要望が多く寄せられています。両方とも災害復旧の手引きや指針として活用されているため増刷し、9 月 18 日から再販売しています。

① (増刷) 災害復旧事業における地すべり対策の手引き

② (増刷) 河川災害復旧護岸工法技術指針 (案)

詳細は、協会ホームページをご覧ください。

URL http://www.zenkokubousai.or.jp/toshyo_publication.html

※使用にあたり (下記に留意し活用を)

地すべり対策の手引きは平成 18 年 3 月に、護岸工法技術指針 (案) は平成 13 年 5 月に編集・発行しています。その後、よりよい施工事例や新たな知見がある可能性があります。

使用にあたっては、発生採択事例集 (全国防災協会)、災害手帳 (全国建設技術協会) や河川砂防技術基準及び巻末の参考図書等により最新の技術的知見と相違ないか確認して下さい。



平成30年 発生主要異常気象別被害報告

平成30年9月14日現在 (単位：千円)

	冬期風浪及び風浪		豪雨		地すべり		融雪		地震		梅雨前線豪雨		台風		その他		合計	
	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額
北海道	1	200,000	7	505,000	1	170,000	3	235,000			(4) 272	(43,000) 9,592,860			9	379,000	(4) 293	(43,000) 11,081,860
青森			27	410,000													27	410,000
岩手			188	2,944,700			1	80,000							7	244,000	196	3,268,700
宮城			5	87,400											1	15,000	6	102,400
秋田			140	6,199,000	9	760,000					5	79,000			4	430,000	158	7,468,000
山形			692	12,598,028													692	12,598,028
福島			11	147,000	1	35,000							1	150,000	1	100,000	14	432,000
茨城					1	80,000											1	80,000
栃木													1	100,000	21	440,000	22	540,000
群馬			1	26,441	1	36,000							1	26,000			3	88,441
埼玉			1	19,000													1	19,000
千葉																		
東京																		
神奈川	<5>	<1,185,000>	1	40,000									<3>	<45,000>			<3>	<45,000>
新潟	12	2,305,000	(1) 87	(101,000) 3,221,100	1	110,000	3	80,000					3	45,000	(2) 2	(9,500) 9,500	(5) 105	<1,185,000> (110,500) 5,725,600
富山			41	799,000			2	100,000			21	746,000			7	84,000	71	1,729,000
石川	2	230,000	14	233,000							46	377,000			39	705,000	101	1,545,000
福井							2	55,000			77	3,175,620	7	133,000	9	262,000	95	3,625,620
山梨													1	67,000			1	67,000
長野			6	92,000	2	160,000					93	5,053,800	92	1,800,400	26	268,000	219	7,374,200
岐阜			27	253,900							(6) 692	(178,000) 18,376,809					(6) 728	(178,000) 18,768,709
静岡			6	105,000	1	120,000							9	138,000	<3>	<85,000>	<3>	<85,000>
愛知			9	202,500							18	1,147,000			(2) 6	(422,000) 807,000	(2) 31	(422,000) 2,179,000
三重			1	30,000							6	159,000	9	191,000	1	7,700	25	560,200
滋賀											<2> 16	<38,000> 211,000	<3> 82	<451,200> 1,655,350			<5> 99	<489,200> 1,896,350
											22	835,300					22	835,300
京都					(1) 4	(3,000) 1,063,000			(1) 3	(19,000) 59,500	(14) 1,305	(387,000) 15,994,450	(3) 75	(63,500) 1,182,388			(19) 1,387	(472,500) 18,299,338
大阪			9	618,000					(4) 25	(182,000) 554,275	(4) 84	(371,200) 2,509,300	6	74,200			(8) 124	(553,200) 3,755,775
兵庫			8	113,000	1	770,000			(2) 2	(39,000) 39,000	(15) 1,096	(397,000) 17,754,024	(14) 103	<650,400> (1,109,200) 2,630,300			(16) 1,210	<747,400> (1,908,800) 21,306,324
奈良					1	130,000					33	374,600	(1) 91	(15,000) 3,622,800			(15) 125	(15,000) 4,127,400
和歌山			11	156,000	1	180,000					100	2,156,700	<10> 367	<1,223,000> 10,490,960			<10> 479	<1,223,000> 12,923,660
											<1> 355	(11,000) 11,077,100					<1> 356	(11,000) 11,177,100
鳥取	<3>	<350,000>	(1) 63	(3,000) 386,200	1	100,000			<10>	<111,000>					(1) 2	(40,000) 50,000	(2) 306	(40,000) 3,973,424
島根	3	350,000			1	62,224			34	667,400	203	2,457,600					(2) 423	(43,000) (3,973,424)
岡山											(42) 2,687	<430,000> 30,208,556	6	74,200	2	40,000	(42) 2,689	(3,706,859) 30,248,556
広島			1	18,000							<2> 79	<190,000> (3,473,700)	(1) 7,036	(15,000) 105,406,500			<2> 7,037	<190,000> (3,473,700) 105,424,500
山口			9	101,500							(11) 967	(246,000) 21,426,998					(11) 976	(246,000) 21,528,498
徳島			1	10,000	1	70,000					189	6,662,200	<1> 28	<10,000> 438,100			<1> 219	<10,000> 7,180,300
香川											(2) 95	(57,000) 1,365,800	1	1,000			(2) 96	(57,000) 1,366,800
愛媛			29	279,500							<6> 189	<103,000> (393,000)					<6> 188	<103,000> (393,000)
高知			29	358,000							2,514 (1)	42,605,300 (19,500)					2,543 (1)	42,884,800 (19,500)
福岡											1,147 (11)	48,089,250 (463,000)	27	547,000			1,203 (11)	48,994,250 (463,000)
											733	19,306,552					733	19,306,552
佐賀											<1> 385	<140,000> 4,431,600			1	100,000	<1> 386	<140,000> 4,531,600
長崎					1	500,000					(1) 146	(2,200) 1,488,700					(1) 148	(2,200) 2,015,700
熊本			15	97,800	1	152,900					472	3,862,646	1	27,000			488	4,113,346
大分			2	16,000	4	590,000					287	2,932,324					293	3,538,324
宮崎			5	88,000	1	2,000,000					166	1,784,000	16	266,000			188	4,138,000
鹿児島			9	250,000							161	1,551,200	18	347,100			188	2,148,300
沖縄			3	48,000	1	30,000					2	27,000	7	170,000			13	275,000
札幌																		
仙台																		
さいたま																		
千葉																		
横浜																		
川崎																		
相模原																		
新潟																		
静岡			1	35,000													1	35,000
浜松			3	370,000							10	560,000					13	930,000
名古屋											(1) 28	(83,000) 825,330	11	596,000			(1) 39	(83,000) 1,421,330
京都																		
大阪																		
堺																		
神戸											<10> (7)	<723,000> (239,100)					<10> (7)	<723,000> (239,100)
岡山											40 (5)	1,471,600 (121,218)					40 (5)	1,471,600 (121,218)
広島											60 (44)	1,125,778 (706,000)					60 (44)	1,125,778 (706,000)
北九州											450 (3)	13,073,000 (34,000)					450 (3)	13,073,000 (34,000)
福岡											38 (2)	743,000 (36,000)					38 (2)	743,000 (36,000)
熊本											13 1	167,056 13,000					13 1	167,056 13,000
補助計	<8>	<1,535,000>	(3) 18	(109,500) 3,085,000	(1) 1,462	(3,000) 30,858,069			<10> (9)	<111,000> (340,000)	(30) (27)	<1,798,000> (11,440,377)	<35> (29)	<2,465,600> (11,759,700)			(35) (31)	<5,909,600> (13,430,077)
合計	18	3,085,000	32	5,050,700	35	7,119,124	11	550,000	32	4,472,000	302	45,930,457	18	5,715,000	2	1,115,000	386	62,292,157

※上段（ ）内書きは、下水道・公園分、< >内書きは港湾・港湾に係る海岸分である。

※被害報告は、月2回(15日、月末)国土交通省HPで公表。最新は下記をクリック

http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/bousai/saigai/kiroku/houkoku.html